

水産物の市況について(令和7年2月及び令和7年3月)

—東京都中央卸売市場における令和7年2月(令和7年1月21日～令和7年2月20日集計)の市況と、
令和7年3月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和7年2月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からやや減少で推移し、前年同月比でもやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から弱含みで推移し、前年同月比ではやや強含みで推移しました。

II 令和7年3月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

常磐沖や山陰沖でまとまった水揚げがみられると予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀さけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

山陰沖、東シナ海での漁獲は続くものの、徐々に水揚量は減少するとみられ、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

全国的に低調な水揚げが続くと予想され、生鮮物の東京への入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

山陰沖や東シナ海では徐々に水揚量が増加するとみられるものの、全国的には低調に推移すると予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	2月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
7年	25	1,600	25	1,813	29	1,691
前年	26	1,502	27	1,782	28	1,609

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	2月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	404	91	100	105
さけ類(平均)	1,411	105	121	140
(ぎんざけ塩蔵品)	1,394	104	118	136
(あきさけ塩蔵品)	1,509	145	183	217
(べにざけ塩蔵品)	1,488	89	112	110
(さけ類冷凍品)	1,461	106	126	147
さば(生鮮品)	736	120	134	166
するめいか(平均)	1,513	104	105	160
(生鮮品)	1,526	107	111	164
(冷凍品)	1,490	100	90	141
あじ(生鮮品)	577	70	75	92
まぐろ(冷凍品)	1,407	88	81	87
(めばち冷凍品)	1,105	100	91	96
(きはだ冷凍品)	978	102	72	83
(くろまぐろ冷凍品)	3,298	100	103	101
(みなみまぐろ冷凍品)	2,061	100	106	102

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:2月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和2年～令和6年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613